

# 茶院A遺跡

西蒲原の低地に広がる  
奈良時代の集落群

新潟市文化財センター 今井さやか

# 茶院A遺跡発掘調査の概要

- ▶ 調査地 西蒲区打越（旧中之口村）
- ▶ 調査期間 令和4年7月20日～11月18日
- ▶ 調査原因 県営ほ場整備事業



# 茶院A遺跡発掘調査の概要



# 茶院A遺跡の立地



## 茶院A遺跡調査の経緯

- ▶ 昭和25年頃、地元の歴史研究家（真島氏）によって、遺物が採集される。
- ▶ 1973年、北陸道建設に伴い発掘調査が行われ、須恵器や土師器が出土。
- ▶ 平成27年度から打越地区ほ場整備事業に伴う試掘確認調査開始。
- ▶ 高六遺跡などを統合し遺跡の範囲が拡大する。



茶院A遺跡の調査（新潟県教育委員会撮影）

# 基本層序



農道の盛土

VI層

VII層 (古代上層の遺物を含む層)

VIII層 (古代上層の生活面)

IX層 (古代下層の生活面)

# 1区 自然流路NR30



# NR30出土遺物



墨書土器

木製品 →





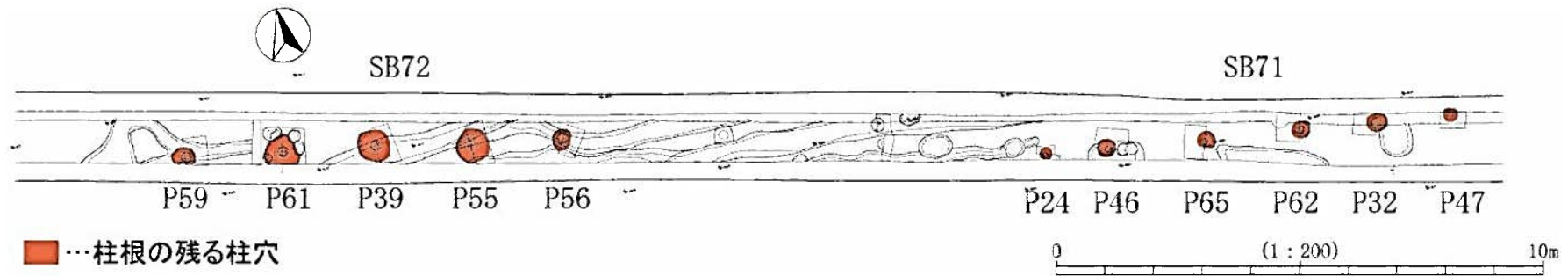
# NR30出土遺物



墨書土器「宅」

土師器（西古志形） 鍋

## 3 区の遺構



東西方向の柱列が2列みつかると  
→掘立柱建物の柱列と考えられる

# 3区掘立柱建物 SB71・72



## 3 区掘立柱建物調査風景



# 柱 (複数の加工形状)



V字に加工



切りっぱなし



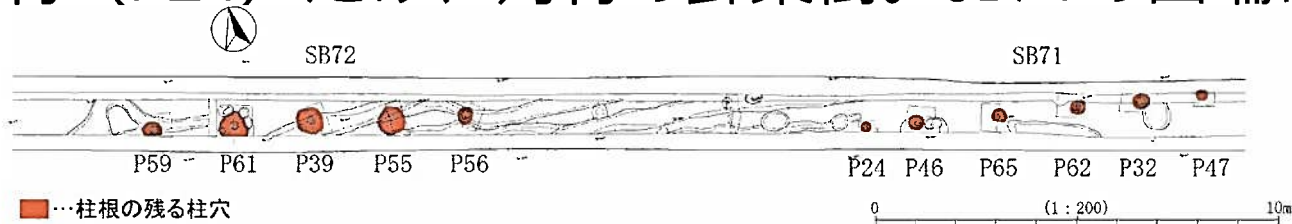
ミカン割材

全て  
広葉樹

# 柱 (庇の可能性)



この材 (P24) だけ、角材の針葉樹。SB71の西端に位置する。



## 3区出土遺物 (赤彩土器 鉢)



# 茶院A遺跡の性格を解くカギ1 墨書土器「宅」は何を意味する？



- ▶ 「宅」...「みやけ」「やけ」と読む
- ▶ 5点出土 (うちNR30から4点)
- ▶ 整った文字 (書きなれた人が書いたと推定される)



# 茶院A遺跡の性格を解くカギ1 墨書土器「宅」は何を意味する？

- ▶ 県内では加茂市馬越遺跡で出土  
「妙越庄」の墨書も併せて出土
- ▶ 近県では、石川県の上荒屋遺跡で出土  
東大寺の荘園

これまでの研究から

## 荘園の 「農業経営拠点施設」

と考えられる



加茂市馬越遺跡出土墨書土器

## 茶院A遺跡も荘園に関係している？

- ▶ ○○庄との墨書があれば、确实だが、見つかっていない。
- ▶ 近隣の林付遺跡では「川合」「井庄」の墨書土器や権状錘が出土している。



林付遺跡出土墨書土器「川合」



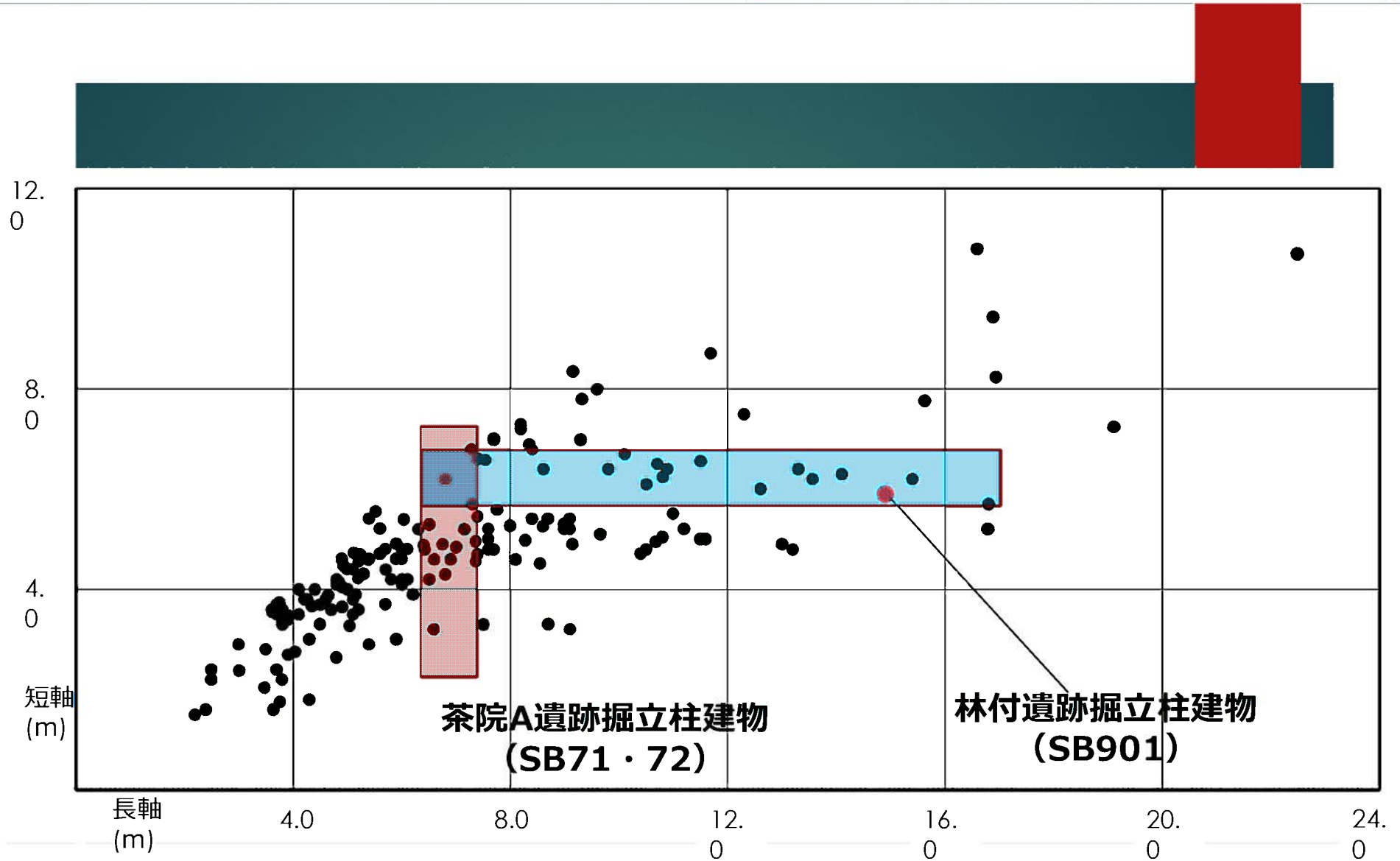
林付遺跡出土墨書土器「井庄」

# 茶院A遺跡も荘園に関係している？



SB901柱穴 (P206) 断面

林付遺跡大型の掘立柱建物 (SB901) 全景



県内における古代のおもな掘立柱建物(身舎部分)の規模

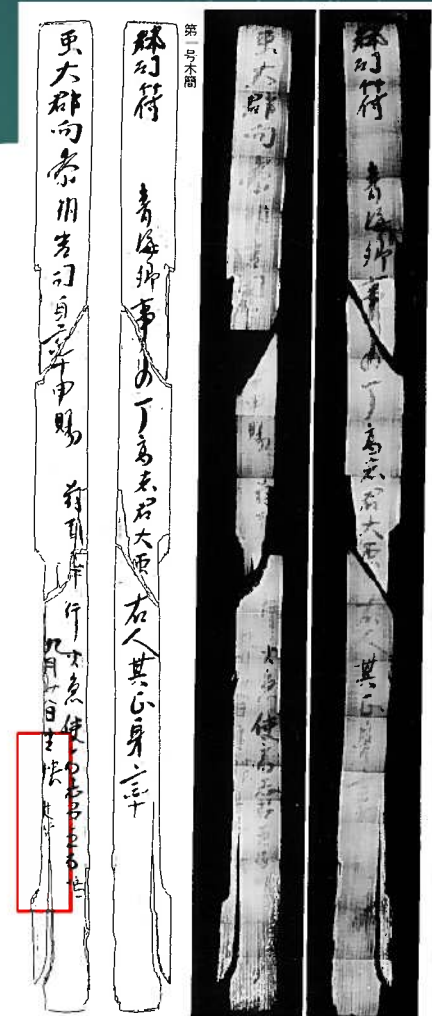
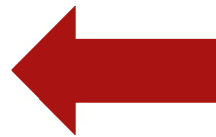
## 茶院A遺跡の性格を解くカギ2 「丈（はせつかべ）」さん



- ▶ 茶院A遺跡墨書土器の中に「丈□」
- ▶ □には部の部首が見え、丈部（はせつかべ）と考えられる。

## 茶院A遺跡の性格を解くカギ2 「丈 (はせつかべ)」さん

- ▶ 「丈部」は、旧和島村八幡林遺跡から出土した郡司符木簡に出てくる人物
- ▶ 蒲原郡司の主帳 (第四等官)



和島村教育委員会「八幡林遺跡」より

# 茶院A遺跡の性格を解くカギ 3 地震痕跡



2区で見つかった噴砂痕跡

## 茶院A遺跡とは（まとめ）

- ▶ 8世紀後半主体の奈良時代の遺跡
- ▶ 蒲原郡に属する農業拠点集落
- ▶ 郡司が経営していた荘園の可能性が高い
- ▶ 9世紀後半の生活痕跡が無い
- ▶ 地震の被害を受けた可能性が高い